子ども・子育て支援に関するニーズ調査（就学児童）１次集計結果（概要）

資料２

調査概要（就学児童）

（1） 調査実施方法 ： 郵送による無記名自記式アンケート調査

（2） 調査時期 ： 平成25年9月14日～10月15日

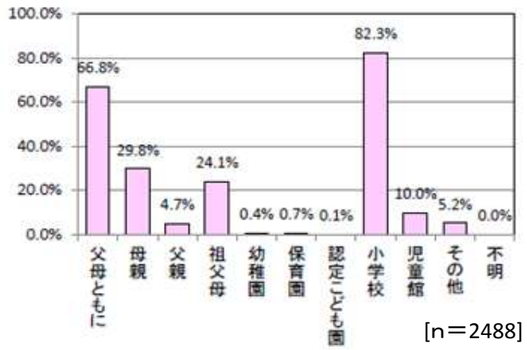
（3） 調査対象者 ： 広島市全域の小学校児童のいる世帯 5,500件

（4） 有効回収数 ： 2,488件（回収率：45.2%）

子どもの育ちをめぐる環境

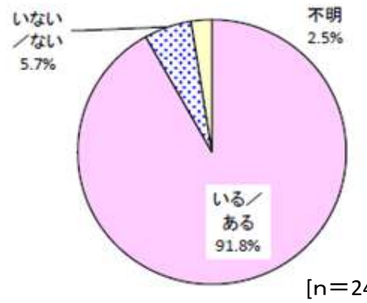
91.8%の人が子育てをする上で気軽に相談できる人（場所）がいる（ある）と回答しており、相談先は「友人・知人」や「祖父母等の親族」が多くなっています。なお、5.7%の人が気軽に相談できる人（場所）がいない（ない）と回答しています。

問8.宛名のお子様の子育てに日常的に関わっている人・施設



[n＝2488]

問11. 宛名の子の子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また相談できる場所はありますか

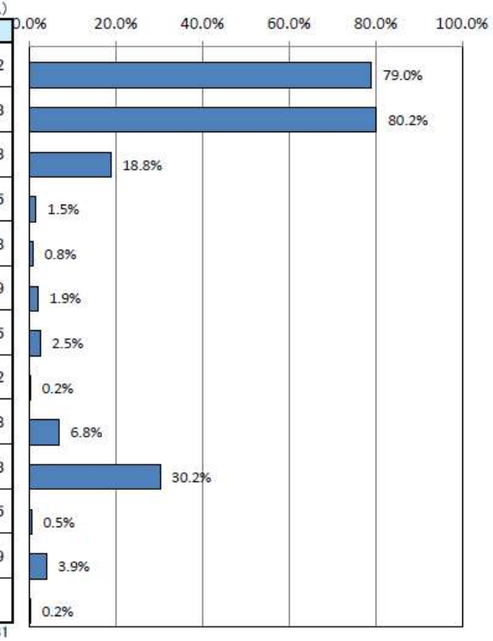


[n＝2488]

問11-1.子育てに関して、気軽に相談できる先は、どなた(どこ)ですか

【N=気軽に相談できる人がいる・場所がある人】 （MA）

	件数	(全体)%	(除不)%
祖父母等の親族	1806	79.0	79.2
友人や知人	1832	80.2	80.3
近所の人	429	18.8	18.8
子育て支援施設(児童館等)・NPO	35	1.5	1.5
保健所・保健センター	19	0.8	0.8
保育士	44	1.9	1.9
幼稚園教諭	56	2.5	2.5
民生委員・児童委員	4	0.2	0.2
かかりつけの医師	156	6.8	6.8
小学校教諭等	691	30.2	30.3
自治体の子育て関連担当窓口	12	0.5	0.5
その他	90	3.9	3.9
不明	4	0.2	
サンプル数（%ベース）	2285	100	2281

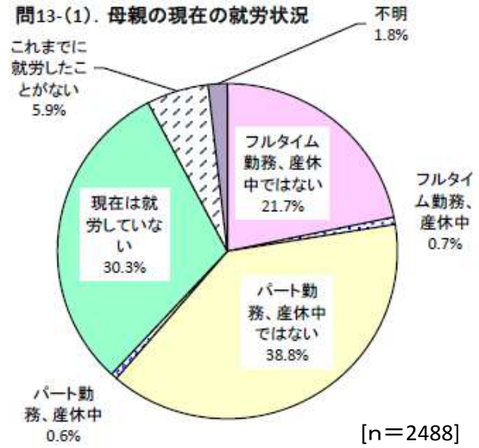


(*)子育て支援施設…地域子育て支援拠点、児童館等

保護者の就労状況

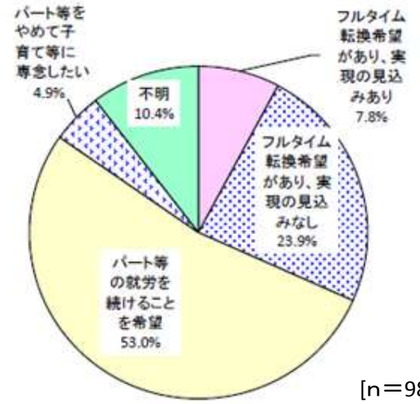
母親の61.8%がフルタイム又はパートタイム等で就労中であり、現在就労していない母親のうち、64.7%が将来的に就労したいと回答しています。

問13-(1). 母親の現在の就労状況



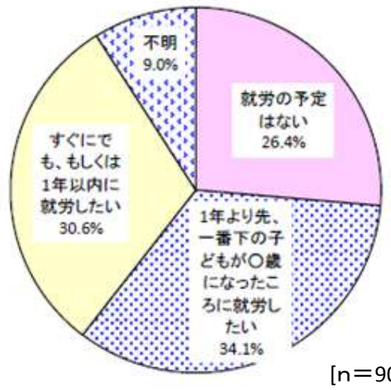
[n＝2488]

問14-(1)母親：フルタイムへの転換希望（パートタイム就労者）



[n＝981]

問15-(1)母親：就労希望（現在就労されていない方）



[n＝903]

■母親の就労希望時期：子どもが〇歳の頃

【N=一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい】

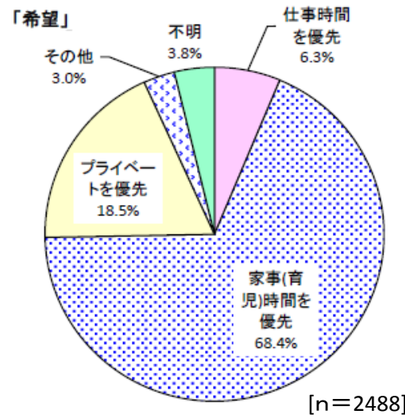
	件数	(全体)%	(除不)%
3歳	25	8.1	8.2
4歳	18	5.8	5.9
5歳	6	1.9	2.0
6歳	38	12.3	12.5
7歳	54	17.5	17.8
8歳	26	8.4	8.6
9歳	7	2.3	2.3
10歳	64	20.8	21.1
11歳	2	0.6	0.7
12歳	22	7.1	7.2
13歳以上	42	13.6	13.8
不明	4	1.3	
サンプル数（%ベース）	308	100	304

（NA）

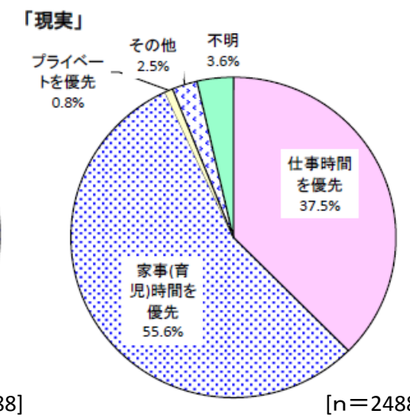
ワーク・ライフ・バランス

「希望」では、86.9%の人が「家事（育児）時間」または「プライベート」を優先したいと回答しているのに対し、「現実」では、「家事（育児）時間」または「プライベート」を優先していると回答した人が56.4%となっています。

問16.「仕事時間」と「家事(育児)・プライベートの生活時間」の優先度



[n＝2488]

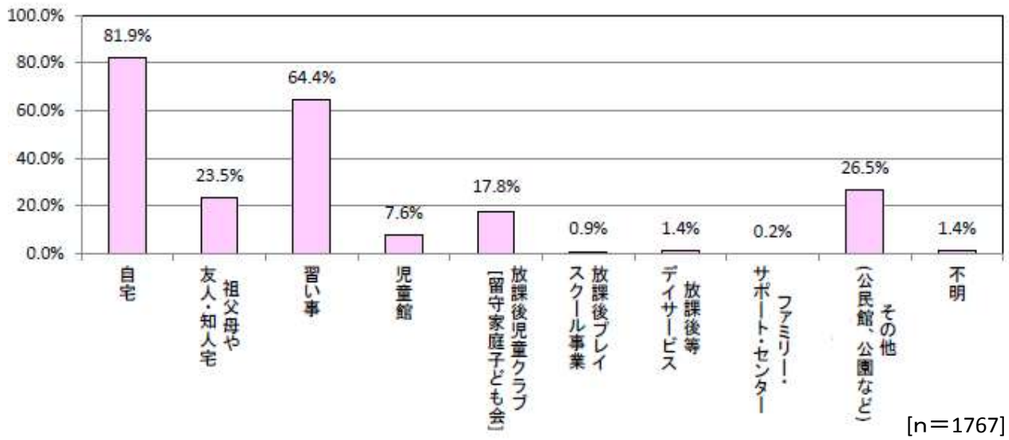


[n＝2488]

放課後等の居場所（1～3年生）

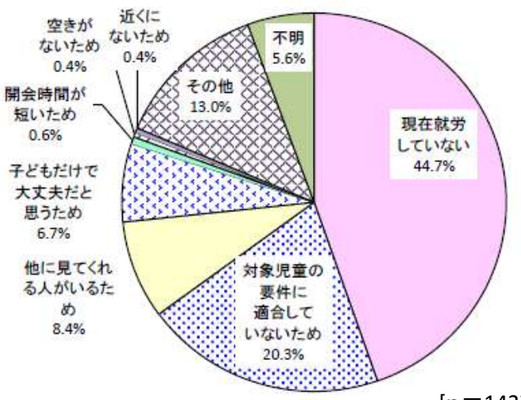
現在の放課後の居場所として、「自宅」や「習い事」をあげている人が多くなっています。また、17.8%の人が「放課後児童クラブ（留守家庭子ども会）」と回答しています。
留守家庭子ども会を利用していない人の「利用していない理由」としては、44.7%が「現在就労していない」、20.3%が「対象児童の要件に適合していないため」と回答しています。
また、「長期休暇期間中に放課後児童クラブ（留守家庭子ども会）を利用したい」と回答した人の利用開始時間の希望としては、「8時0～29分」が35.4%でもっとも多く、利用終了時間の希望としては、「17時0～29分」が30.1%でもっとも多くなっています。
小学校高学年になったときの放課後の居場所としては、「自宅」、「習い事」を希望する人が多く、「留守家庭子ども会」と回答した人は11.9%となっています。

問17.宛名の子は、現在放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか



[n＝1767]

問18.留守家庭子ども会を利用していない理由



[n＝1427]

■問22.長期休暇期間中の放課後児童クラブ：利用希望開始時間

【N=長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用希望者】

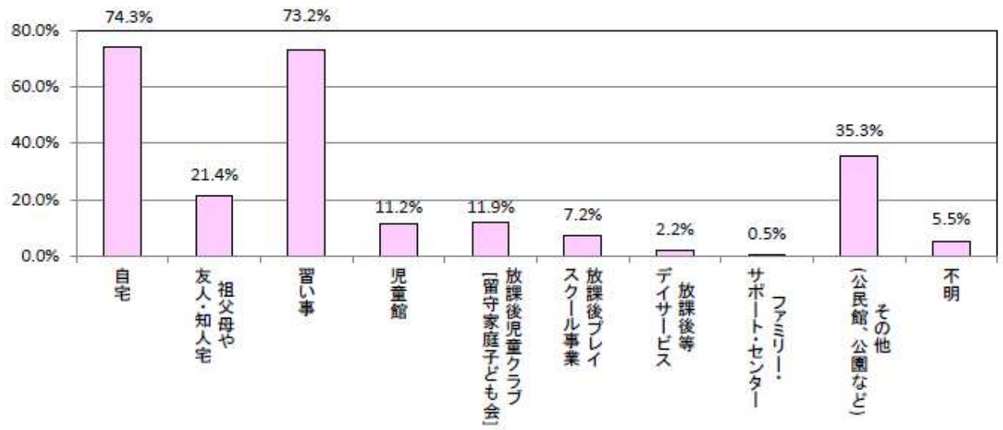
	件数	(全体)%	(除不)%
7時29分以前	7	1.2	1.2
7時:30～59分	39	6.6	6.7
8時:0～29分	209	35.4	35.9
8時:30～59分	157	26.6	27.0
9時:0～29分	148	25.0	25.4
9時30分以降	22	3.7	3.7
不明	9	1.5	
サンプル数(%ベース)	591	100	582

■問22.長期休暇期間中の放課後児童クラブ：利用希望終了時間

【N=長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用希望者】

	件数	(全体)%	(除不)%
16時59分以前	143	24.2	24.6
17時:0～29分	178	30.1	30.6
17時:30～59分	30	5.1	5.2
18時:0～29分	114	19.3	19.6
18時:30～59分	72	12.2	12.4
19時:0～29分	32	5.4	5.5
19時30分以降	12	2.0	2.1
不明	10	1.7	
サンプル数(%ベース)	591	100	582

問20.小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後をどのような場所で過ごさせたいと思いますか

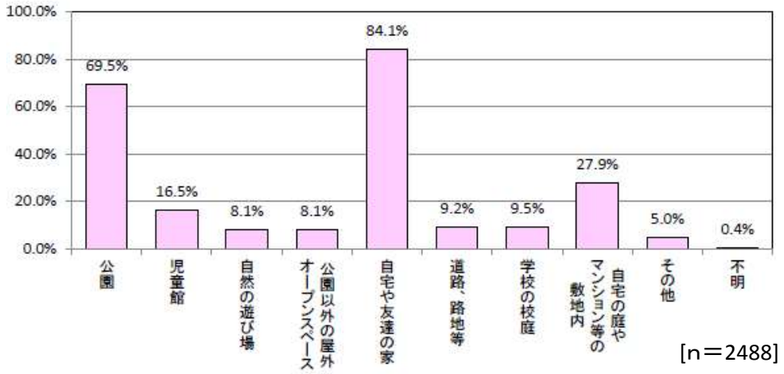


[n＝1767]

子どもの遊び場

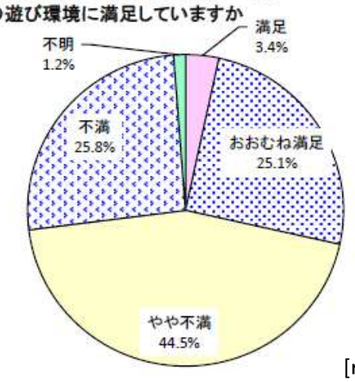
主な日常的な遊び場としては、「自宅や友達の家」がもっとも多く、次いで「公園」が多くなっています。
子どもの遊び環境には、70.3%が「やや不満」あるいは「不満」と答えており、その理由は、「自然に触れ合える場がない」、「子ども自身に十分な遊びのための時間がない」と回答した人が多くなっています。

問23.休日や学校が終わってからの日常的な遊び場は主に次のどれですか



[n＝2488]

問24.あなたご自身の子ども時代と比べて、お子様の遊び環境に満足していますか

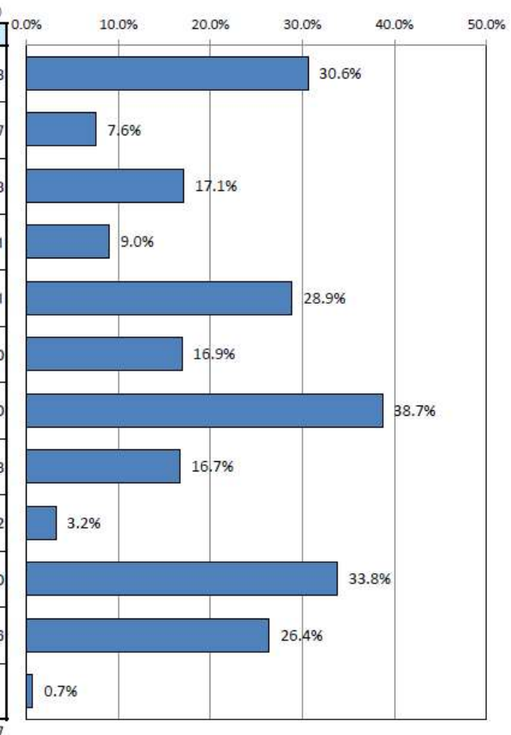


[n＝2488]

問24-1.どのような点が不満ですか

【N=問24で「3.やや不満」「4.不満」を選ばれた方】 (MA)

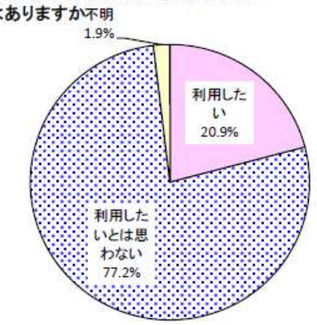
	件数	(全体)%	(除不)%
近所に遊び場がない	535	30.6	30.8
不衛生である	133	7.6	7.7
いつも閑散としていて寂しい感じがする	300	17.1	17.3
道具などの設備が古くて危険である	158	9.0	9.1
遊び場やその周辺の環境が悪くて、安心して遊べない	506	28.9	29.1
遊び場周辺の道路が悪くて危険である	296	16.9	17.0
自然に触れ合える場がない	677	38.7	39.0
遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいない	292	16.7	16.8
遊び場の時間に制約がある	56	3.2	3.2
子ども自身に十分な遊びのための時間がない	591	33.8	34.0
その他	462	26.4	26.6
不明	13	0.7	
サンプル数(%ベース)	1750	100	1737



病児・病後児保育（1～3年生）

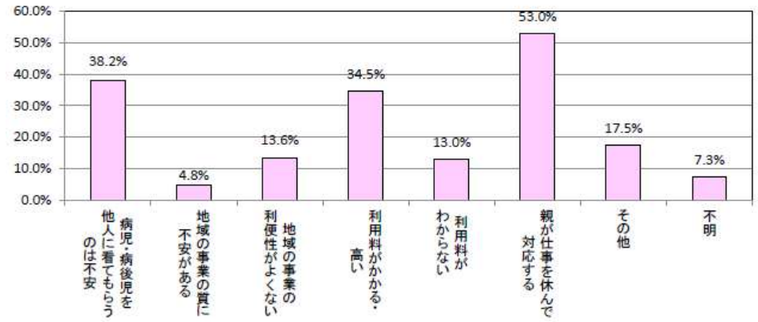
お子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことがあり、その対処方法として父親または母親が休んだ人のうち、20.9%が「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と回答しています。
また、利用したいと思わない理由としては、「親が仕事を休んで対応する」、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」と回答した人が多くなっています。

問26-2.「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われたことはありますか



[n＝570]

問26-3.病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由

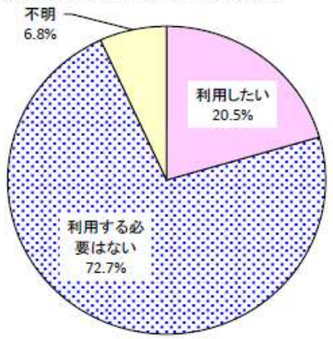


[n＝440]

不定期の教育・保育事業（一時預かり等）

20.5%の人が私用（冠婚葬祭、リフレッシュ等）、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期の教育・保育事業を利用したいと回答しています。

問28.宛名のお子様について、私用、親の通院、不定期の就労等の目的での事業利用希望



[n＝2488]

問28.利用したい目的

【N=利用したい】

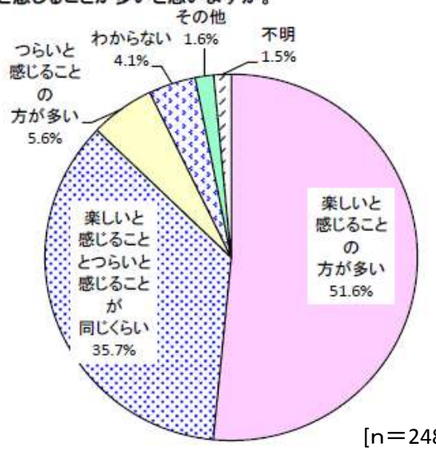
	件数	(全体)%	(除不)%
ア. 私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ	310	60.9	63.4
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	299	58.7	61.1
ウ. 不定期の就労	149	29.3	30.5
エ. その他	57	11.2	11.7
不明	20	3.9	
サンプル数(%ベース)	509	100.0	489

(MA)

子育てに関する悩みや不安感

子育ての精神的な負担を減らすために必要な支援として、「経済的支援の充実」と回答した割合がもっとも多く、次いで「配偶者・パートナーの育児参加のための労働環境整備」が多くなっています。

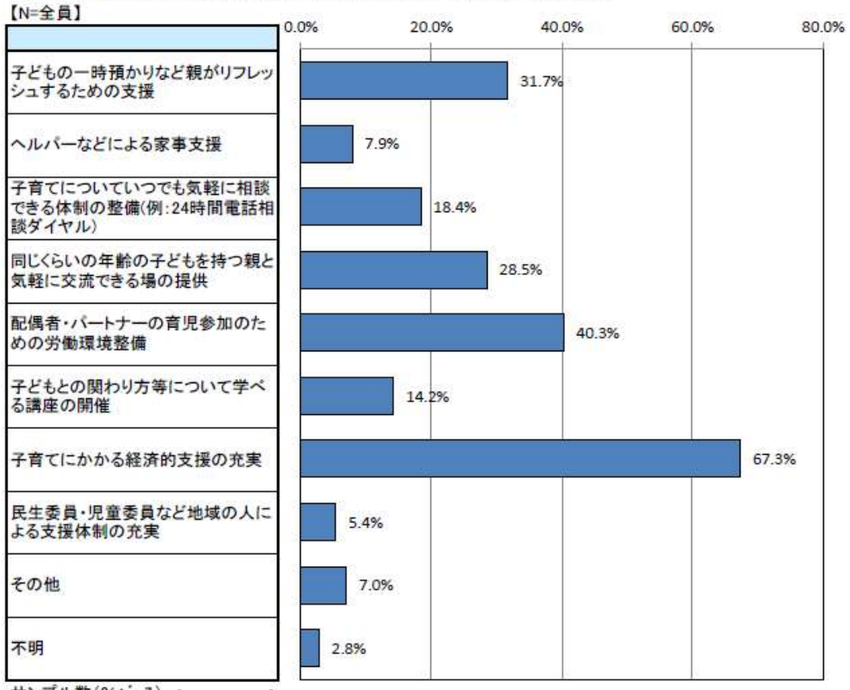
問30.あなたは、自分にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。



[n＝2488]

問31.子育ての精神的な負担を減らすために、どのような支援が必要ですか

【N=全員】



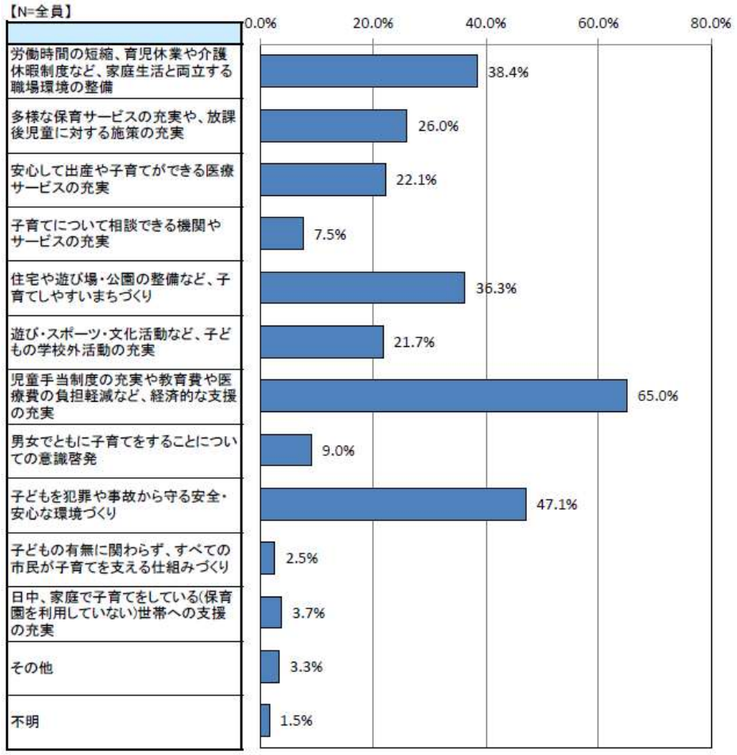
サンプル数（%ベース） [n＝2488]

子育てしやすい社会をつくるための行政の役割

行政に期待することとして、「経済的支援の充実」と回答した割合がもっとも多く、次いで「子どもを犯罪や事故から守る安全・安心な環境づくり」が多くなっています。

問32.子育てしやすく、子どもが健やかに育つ社会をつくるために、国や市などの行政に何を期待しますか

【N=全員】



[n＝2488]